

**【科学研究費補助金研究等への参画状況】**

課 題 名	担当研究者	協力依頼期間 (研究事業期間)	概 要
ワンヘルスに基づく食品由来耐性菌のサーベイランスと伝播機序解明のための研究 (厚生労働科学研究: 代表者 国立感染症研究所 菅井 基行)  【分担研究】 全国地研ネットワークに基づく食品及びヒトから分離されるサルモネラ, 大腸菌, カンピロバクター等の薬剤耐性の動向調査 (研究分担者 愛媛県立衛生環境研究所 四宮 博人)	【分担研究】 四宮博人  【協力研究】 松本純子 木村千鶴子 平井真太郎 鳥谷竜哉	令和 6～ 令和 8 年度	・地方衛生研究所全国協議会ネットワークを利用した食品およびヒトから分離されるサルモネラ属菌, 大腸菌, カンピロバクター等の薬剤耐性の動向を調査する。
腸管出血性大腸菌(EHEC)感染症等の病原体に関する解析手法及び共有化システム構築のための研究 (厚生労働科学研究: 代表者 国立感染症研究所 泉谷 秀昌)  【分担研究】 中国・四国ブロックの菌株解析及び精度管理 (研究分担者 岡山県環境保健センター 河合 央博)	【協力研究】 木村千鶴子 平井真太郎 鳥谷竜哉	令和 6～ 令和 8 年度	・腸管出血性大腸菌 O157 株の PFGE 法及び MLVA 法による精度管理, 発生事例の分子疫学的手法による解析, 県内で発生した腸管出血性大腸菌感染症事例の情報提供及び解析を行う。
重篤な愛玩動物由来感染症に対する総合対策に関する研究 (日本医療研究機構 (AMED) : 代表者 山口大学 前田 健)  【分担研究】 地方衛生研究所における動物由来感染症の診断体制の確立と問題点の抽出 (研究分担者 山口県環境保健センター 調 恒明)	【協力研究】 四宮博人  【協力研究】 河瀬曜	令和 6～ 令和 8 年度	・愛玩動物由来人獣感染症の動物における診断・予防・治療法を開発する。 ・愛玩動物由来人獣共通感染症に関わる行政との連携を模索する。
薬剤耐性菌のサーベイランス強化および薬剤耐性菌の総合的な対策に資する研究 (日本医療研究機構 (AMED) : 代表者 国立感染症研究所 菅井 基行)  【分担研究】 全ゲノム情報に基づくカルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE) 感染症病原体サーベイランスの活用及び精度管理に関する研究 (研究分担者 国立感染症研究所 鈴木 里和)	【協力研究】 木村千鶴子 平井真太郎 鳥谷竜哉	令和 6～ 令和 8 年度	・地方衛生研究所における CRE の薬剤感受性試験体制を整備し標準的手法を開発する。
急性弛緩性麻痺等の神経疾患に関する網羅的病原体検索を含めた原因及び病態の究明, 治療法の確立に資する臨床疫学研究 (厚生労働科学研究: 代表者 神奈川県衛生研究所 多屋 馨子)  【分担研究】 地衛研における検査・病原体解析 (研究分担者 愛媛県立衛生環境研究所 四宮 博人)	【分担研究】 四宮博人  【協力研究】 松本純子 河瀬曜 吉田紗弥子 山下育孝 兵藤大輔 酒井祐佳	令和 4～ 令和 6 年度	・地方衛生研究所における急性脳炎・脳症・急性弛緩性脊髄炎(AFP)等の原因究明のための検査診断法・手順を確立し, 病害解明に資する研究を実施する。

<p>公衆浴場の衛生管理の推進のための研究 (厚生労働科学研究: 代表者 国立感染症研究所 泉山 信司)</p> <p><b>【分担研究】</b> 入浴施設の衛生管理の手引きに関する研究 (研究分担者 岡山理科大学獣医学部 黒木 俊郎)</p>	<p><b>【協力研究】</b> 木村千鶴子 平井真太郎 鳥谷竜哉</p>	<p>令和 4～ 令和 6 年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方自治体における公衆浴場の監視指導業務の担当職員を対象に、アンケート調査やヒアリング等を行い、レジオネラ症発生防止や発生時の対応に係る監視指導の実態や課題を整理する。</li> <li>・衛生等管理要領や手引に研究成果や保健所等意見の反映を提案し、研究班の成果の現場への普及を目指す。これらの成果について、Web ページやセミナーを通じて発信する。</li> </ul>
<p>多分野連携による新興・再興エンテロウイルス感染症に対する検査・診断・治療・予防法開発に向けた研究 (日本医療研究機構 (AMED) : 代表者 国立感染症研究所 有田 峰太郎)</p> <p><b>【分担研究】</b> エンテロウイルスサーベイランスにおける標準検査法の開発 (研究分担者 群馬県衛生環境研究所 猿木 信裕)</p>	<p><b>【協力研究】</b> 四宮博人</p>	<p>令和 4～ 令和 6 年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床現場または地方衛生研究所で実施可能な高感度なウイルス検査法を開発し、エンテロウイルス感染症の疫学的調査に活用する。</li> </ul>
<p>わが国の病原体検査の標準化と基盤強化、ならびに、公衆衛生上重要な感染症の国内検査体制維持強化に資する研究 (厚生労働科学研究: 代表者 国立感染症研究所 宮崎 義継)</p> <p><b>【分担研究】</b> 原虫類の実践的検査法の普及による検査体制の強化 (研究分担者 国立感染症研究所 永宗 喜三郎)</p>	<p><b>【協力研究】</b> 兵藤大輔 酒井祐佳</p>	<p>令和 6 年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下痢症病原体の原虫類(クリプトスポリジウムならびにジアルジア)の迅速検査法(直接蛍光抗体法 DIF)普及による検査体制の整備, 強化を図る。</li> </ul>